

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターを利用している児童を対象としているため、保護者の同意を得られれば、担当者同士が連携を取りやすい。	・訪問前は、児童発達支援センターの担当者に児童や家族の状況を確認している。 ・訪問後は、児童発達支援センターの担当者に訪問先の状況等を共有している。	・引き続き、家族、訪問先、児童発達支援センターで、児童の関わり方等を共有していく。
2	・同一の児童に対して、多職種の職員が関わっており、連携を取りやすい。	・訪問前には、児童の状況について、他の専門職と情報共有に努めている。	・ご家族の同意のもとで、児童に関わる多職種間での連携に努め、訪問先とも共有していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者や訪問先と、訪問前後以外の連絡や情報の共有不足。	・保護者や訪問先に対して、事業の目的や訪問員の役割の説明が不足している。	・保護者や訪問先に対して、事業の目的や訪問員の役割をわかりやすく説明していく。 ・保護者に対しては、児童発達支援センター利用時に訪問先での様子を確認する等、日常的な情報共有に努めていく。
2	・対象児童の状況に合わせた訪問の実施。	・限られた人員で行っているため、迅速な対応が難しい場合がある。	・保護者や訪問先との定期的な情報共有に努めていく。
3			